テイコプラニン注の最適な初期負荷投与方法の検索

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
テイコプラニンは薬剤耐性菌に対して頻用される抗菌薬ですが、有効かつ安全な血中濃度を維持するために血中濃度の測定が必要な薬物となっています。また、ガイドラインにおいて推奨投与量が記載されていますが、推奨投与量を投与していたとしても十分な血中濃度を得ることが出来ない場合があります。今回、より最適な投与量を探るため、投与量や血中濃度の関係性について調査を行うこととしました。

【対象】
当院において 2020 年 1 月～2022 年 12 月の間にテイコプラニンを投与され、血中濃度モニタリングを行った患者さん。

【情報の利用目的及び利用方法】
テイコプラニンの最適な投与量を検索するため、カルテ情報の調査を行い統計学的な解析を行います。

【調査項目】
患者さんの性別・年齢・体重・基礎疾患・合併症、テイコプラニンの投与量・投与期間、感染症名、検出菌、併用薬、臨床検査値（WBC、PLT、BT、AST、ALT、ALB、UN、Scr、eGFR、CRP、Trough）

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
2020 年 1 月～2022 年 12 月

【利用する者の範囲】
研究責任者のみ

【試料・情報の管理について責任を有する者】
研究責任者

【研究期間】
実施許可日から 2023 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究責任者】
川端　俊介
関西労災病院　薬剤部
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail：kawahata-shunsuke@kansaih.johas.go.jp